

2020年  
7月10日

No.260

# さざなみ

〒520-2141  
大津市大江6丁目23-24
**さざなみネット**  
 (金融労連・全国金融産業労働組合滋賀分会)  
 TEL・FAX 077-545-5154


## 被爆者とともに、核兵器のない平和で公正な世界をー人類と地球の未来のために

2020年・被爆75年の「原水爆禁止国民平和大行進」は、新型コロナウイルス感染症の影響で大規模な行進は中止されました。

平和行進は、滋賀県入りした6月16日から各地で集会、署名・宣伝の他、19市町村を訪問し、署名への協力、平和施策拡充などを求めました。63回目、被爆75年の節目を迎える広島・長崎をめざして行動が続きます。

さざなみネットは滋賀銀行従業員組合と共に今年も長浜から大津まで最寄りの集会や行動に参加しました。

メールなどで寄せられた感想や写真を掲載します。

### 6月16日(火) 長浜市役所前

午後4時から長浜市役所前で、原水爆禁止国民平和大行進の集会が開かれたので参加しました。風が少し強かったが良い天気にも恵まれ、久しぶりにこのような集会に出かけました。今年は新型コロナウイルス感染症の影響で、毎年参加している関ヶ原での岐阜県からの引き継ぎ式は、役員のみでの代表参加になり、長浜市役所前の集会のみ参加しました。長浜市役所前には「被爆75年2020年原水爆禁



長浜市役所前での長浜集会  
約30人が集まり賑やかに



長浜市役所前 実行委員長が挨拶

止国民平和  
大行進」の横

断幕、参加団体の幟のもと、約30人が集まりました。集会は、長浜平和委員会代表の挨拶、滋賀県原水協事務局の挨拶、参加者のトーク、長浜市長のメッセージ(代読)のあと、「2020年原子爆禁止国民平和大行進 長浜集会 2020平和アピール」が提案、大きな拍手で採択されました。集会後デモ行進はありませんでしたが、宣伝カーと後続車による宣伝行動が、長浜駅まで行われ、長浜駅前スタンディング宣伝が行われました。

そもそも感染症発生の引き金になったのは、人間が約1万年前に狩猟生活から農耕生活、定住社会に移行し、野生動物を家畜化したことなどです。それにより、野生動物に寄生していたウイルスが人に感染するようになりました。今回のコロナ禍は、成長一辺倒の自然を使い尽くすような経済開発が進み、地球の持続



長浜駅前スタンディング  
「今週の平和行進」オンライン通信



メタカラソウ 岩波 美智子さん 画 (次頁へ)

(前頁から)性が疑問視されるほどになり、この持続不可能な経済成長という問題点を突く形で起きています。社会がそれを選んで引っ張り込んだのです。「共生」関係を築くしかありません。

核兵器は、人間が1930年代に発見し、1940年代に実用兵器として開発したものであり、人間の意思でなくすることができるものです。

新型コロナウイルスの世界的感染がもたらす人類の生存の危機と、経済、環境の危機を乗り越えるためにも、核兵器も戦争もない世界がなるとしても必要です。(山崎幸雄)

● 長浜市役所での集会に参加しました。今までに経験した事のない自粛生活を強いられ、相次ぐ中止、延期の中行進はできましたが、このような形で核兵器廃絶平和への思いが示せて良かったです。武器でコロナはやっつけられない!この期間見失った本当に大事なことを見つめ直す時間でした。終息後はつらかったけど生かされたねと言える社会になってほしいものです。(清水綾子)

6月19日(金) 県庁前・膳所駅前

2020年原水爆禁止国民平和大行進は、今年63回目を迎え、雨の中でしたが、午前11時から



【日本語同時通訳入り】「今週の平和行進」オンライン第8回

滋賀県庁玄関セレモニー後「今週の平和行進」オンライン通信

職員の方が出迎えられ、知事のメッセージを代読され、セレモニーを行いました。こちらの参加者は9名ほどでしたが、しっかりと受け継ぎ、あと石山駅へ引き継がれました。(浦谷貞子)

● 午後2時30分から膳所駅前での宣伝・署名行動に参加、コロナ禍で今年の平和行進は行進が中止になり、大津市役所・滋賀県庁の玄関でセレモニーがありました。

膳所駅前にはJRや京阪電車を利用する人、西武やオーミイに買い物する人で通行人は絶えず

ありました。

また6月上旬から始まった小学校の下校時間と重なり横断幕やチラシを配る前を賑やかに帰る子どもたちの姿もほほえましかったです。

暑い日や雨の日の行進は大変ですが沿道から、旗を持ち「こんにちは平和行進です」と声をかけたり、道ばたの花々との出会い、やっぱり平和行進は行進が楽しみです、来年は歩けるでしょうか?(植木和美)

6月21日(日) 大津駅前

大津駅前での宣伝に参加しました。今年は新型コロナウイルスの影響で行進はなく、車での移動と



大津駅前 横断幕とともに

かで、久々に参加できたのに残念です。

今の内ならまだ歩けるのに、来年はどうなるか、この年になるとなるとも言えない年齢になってきた。

一緒に新婦人のタペストリを持って立っていた女性はお母さんを家で介護していたが103歳で看取ったので落ち込んでいても仕方ないと、はじめて参加したと云う方でした。

「沖縄での母親大会にも参加するつもりです」との事。「私も行く予定ですからご一緒しましょう!!」と楽しい出会いがありました。

午後から京都へ引き継ぎ、山科の公園へ午後から予定が入っており山科までは行けなかったけど、来

年はどこかのコースを歩けるように今から身体を鍛えておこう。

(坂下祥子)



大津駅前 署名宣伝行動

「未来パンフ」を学習しよう

新型コロナウイルスとのたたかいは、人間の命や安全、被爆者のみなさんが警告してきた核兵器の問題について考える大きな機会となっています。

いま世界中で、新型コロナウイルス、格差と貧困、地球環境問題の解決、自由と人権、民主主義を求めて人びとがたたかいに立ち上がっています。「核兵器のない世界」の実現へ、共同をひろげるチャンスです。

「未来パンフ」は、核兵器のない平和で公正な世界のために、核兵器禁止条約に参加する日本の実現を国民規模で働きかける学習パンフレットとして、制作されました。

「未来パンフ」は250円で販売され、オンライン学習講座も配信されています。

